

災害対策推進・教育センター

■ スタッフ

センター長	岸和田 昌之(肝胆膵・移植外科)	
副センター長	寺村 文恵(看護部)	
医師 兼任		1名
看護師 兼任		1名
	非常勤	3名
臨床工学技士 兼任		1名
災害対策コーディネーター		1名
事務職員 非常勤		1名

■ 災害対策推進・教育センターの特色

災害対策推進・教育センターは、院内の災害対策の推進、防災体制の整備、実災害で活躍できる人材の養成、災害医療教育の普及啓発を図ることを目的として、令和3年4月1日に新たに設置されました。

院内の高度救命救急・総合集中治療センター、災害医療センター、防災関連会議や部会(防災会議、防災ワーキング・グループ、防火検討委員会、院外医療支援部会、災害リンクナースなど)の教職員、県内外の医療機関、三重大学本学、三重県や津市といった行政や地域の皆さんと連携をとり、病院の災害対策を推進しています。

災害時医療への教育や普及啓蒙活動を、教職員のみならず学生や一般市民の方へも行っています。

1. 業務内容

1) 災害対策の推進

(1) 災害時の事業継続計画(BCP)の策定や整備：令和7年3月31日第2版に改訂。風水害や停電時等の地震以外の自然災害対応について記載。診療部門と事務部門に分けて重要業務を整理。

(2) 防災訓練の計画・実施：多数傷病者受入れ訓練、災害対策本部設立訓練、第2救護所開設・運用訓練、さつき保育園・さくら組津波避難訓練、小児周産期の災害時対応訓練、津保健所 EMIS 入力訓練など

(3) 院内防災関連マニュアルの作成・見直し

(4) 防災体制の整備：安否確認システム(ANPIC)、災害時の備蓄やインフラの整備

(5) 防火訓練の計画・実施：通報、初期消火、避難誘導(消防法：2回/年以上)院内自衛消防組織総合訓練(病棟火災避難訓練、自衛消防本部設立訓練)手術部防火・防災訓練(停電時対応、夜間想

定)、消防用設備説明など

(6) 防火体制の整備：自衛消防組織(本部隊・地区隊)の体制確立

2) 災害時医療への教育および普及啓発活動

(1) 職員研修：新人研修、定例 EMIS 入力訓練、デジタル簡易無線操作訓練、エアーストレッチャー搬送訓練、災害テント・除染テントの展開訓練、第三陸特無線技士講習受講、アマチュア無線技士講習受講など

(2) 防火の職員研修：自衛消防業務講習促進など

(3) 災害医療教育：教職員・医学生への防火・防災訓練、黒潮医療人材養成プロジェクト(文科省)

(4) 災害医療教育の普及啓発：ホームページ、講演、県民公開講座、かわら版(院内広報誌)、Online MEWS(三重大学医学部附属病院公式ブログ)での「シリーズ記事：医療と防災」、MEWS VOL. 34 など

■ 活動実績

1. 業務実績

1) 災害対策の推進

(1) マニュアル整備(策定、改訂)

- i) 災害対策マニュアル Ver4.1 改訂(2024.8)
- ii) 災害対策本部マニュアル Ver2.1 改訂(2024.8)
- iii) 火災対応マニュアル Ver2.0 改訂(2025.1)
- iv) 三重大学医学部附属病院事業継続計画(BCP) -第2版-改訂(2025.3)



(2) 防災訓練の計画・実施

- i) 新人訓練(初期消火)(2024.4.4)
- ii) 災害テント・除染テント展開訓練(2024.4.16)
- iii) さつき保育園・さくら組津波避難訓練(2024.6.18)
- iv) 災害対策本部机上訓練(2024.8.20)
- v) 三重大学病院 院内総合防災訓練(2024.9.28)
 - ① 災害時報告訓練：病院教職員全員
安否確認訓練(安否確認、登院調査)
発災時報告入力訓練(病棟など)
 - ② 多数傷病者受入れ訓練：医療スタッフ(医師、看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師)、医学

部医学科 5 年生（救命センター実習）、近隣医療施設、地域自治会、外国人ボランティア、津市北署、三重県警

③災害対策本部訓練：執行部、診療部、事務部
被災情報把握、病床管理、情報収集（ANPIC、EMIS）、外部 DMAT や県調整本部と調整

④搬送訓練：医学部医学科 5 年生
担架およびエアーストレッチャーの座学・実技、
浸水体験アプリによる AR 体験

vi) 三重大学第 2 救護所開設・運用訓練 (2024. 11. 15)

vii) 災害時の機能存続計画（BCP）に基づいた状況
想定訓練（机上演習）（2025. 1. 21、2. 18、
3. 18）



（新人訓練）



（災害テント・除染テント展開訓練）



（さつき保育園・さくら組津波避難訓練）



（災害対策本部机上訓練）



（多数傷病者受入れ訓練）



（災害対策本部訓練）（エアーストレッチャー搬送訓練）



（浸水アプリ AR 体験）（第 2 救護所開設・運用訓練）



（災害時の機能存続計画（BCP）に基づいた状況想定
訓練（机上演習））

（3）防火訓練の計画・実施

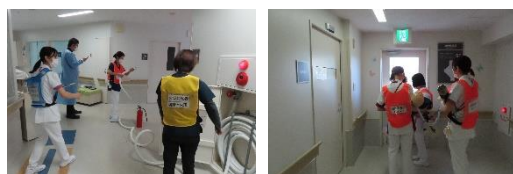
- i) 新人訓練（初期火災）（2024. 4. 4）：初期消火
- ii) 院内自衛消防組織総合訓練（2024. 11. 19）：（自衛
消防本部、6 北、9 北）：自衛消防本部設立、避
難誘導、消防用設備説明
- iii) 手術部防火・防災訓練：通報、初期消火対応、停
電時対応、夜間避難想定（2025. 2. 4）



（消火器、消火栓からの消火訓練）

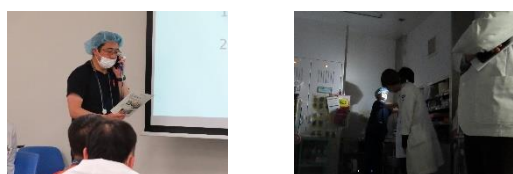


（津市北消防署との連携）



（消防用設備説明）

（避難誘導訓練）



（院内スマホからの通報）（停電時対応）

(4) 防災体制の整備



(食事・飲水備蓄：3 日分)

2) 災害時医療への教育および普及啓発活動



(三重大学防災アカデミー)



(広報誌かわら版)

(病院ブログ「医療と防災」)

MEWS

MIE UNIVERSITY HOSPITAL 2024 VOL.34
【特製】災害に備える

(MEWS VOL. 34)

2. 臨床研究等の実績

1) 岸和田昌之：事業継続計画（BCP）策定に向けた災害時参集アンケート調査—自宅および登院経路の防災対策を考慮したシミュレーション解析。三重医報 768：32—35、2024

2) 岸和田昌之：DMAT（災害派遣医療チーム）の活動について（講演）。防災・減災研究成果公開シンポジウム 2024 年 6 月

3) 岸和田昌之：災害医療と応急対応（講演）。令和 6 年度みえ防災塾 防災実践基礎演習：「災害医療と応急対応」。2024 年 8 月

4) 森川祥彦、他：“災害時出社シミュレーション”を用いた災害時における医師、看護師、薬剤師の登院可能人数の予測（ポスター）。第 57 回日本薬剤師学会大会（大宮） 2024 年 9 月

5) 岸和田昌之：備えの再確認から BCP へ（講演）。第 2 回 三重大学関係病院長会議栄養部会 2024 年

11 月

6) 森川祥彦、他：災害対応ゲームを用いたシミュレーションによる災害時医療実習の教育効果について（ポスター）。第 34 回日本医療薬学会年会（東京）。2024 年 11 月。

7) 岸和田昌之：令和 6 年能登半島地震の災害支援活動者の活動紹介とメンタルヘルスに関するアンケート調査結果（講演）。令和 6 年度 三重大学・防災アカデミー 県民公開講座。2025 年 2 月。

8) 岸和田昌之、他：令和 6 年能登半島地震へ三重県から派遣された DMAT 隊員におけるメンタルヘルスに関するアンケート調査（口演）。第 30 回日本災害医学会（愛知）。2025 年 3 月。

9) 寺村文恵、他：自作した火災机上訓練セットの火災実働訓練に対しての効果（ポスター）。第 30 回日本災害医学会（愛知）。2025 年 3 月。

10) 広平理絵、他：事務職員と看護師を対象にした EMIS 入力訓練に対するアンケート評価（ポスター）。第 30 回日本災害医学会（愛知）。2025 年 3 月。

11) 稲葉枝織、他：外国人ボランティアおよび医療通訳士と協働した多数傷病者受け入れ訓練から明らかになった外国人傷病者受け入れ体制の課題（ポスター）。第 30 回日本災害医学会（愛知）。2025 年 3 月。

12) 後藤健宏、他：植込型補助人工心臓管理施設としての災害対策への取り組み（ポスター）。第 30 回日本災害医学会（愛知）。2025 年 3 月。

13) 佐々木典子、他：法医学解剖医・検視官と協働した多数傷病者受入訓練における黒エリア活動の取り組み（ポスター）。第 30 回日本災害医学会（愛知）。2025 年 3 月。

■ 今後の展望

災害拠点病院として、災害時にも医療体制を継続し、一人でも多くの傷病者の救護を優先した医療を提供できるよう、災害時 BCP をはじめとする対策や運用、防災教育に尽力してまいります

災害対策推進・教育センターHP

<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/bumon/saitai-kyouiku/>

